

静岡県環境放射能測定技術会（令和6年度第4回）会議録

1 開催日・場所等

日時	令和7年3月5日（水）午後1時30分から2時45分まで
方法	静岡県庁 別館5階 東会議室
出席者	構成員：滝危機管理監代理兼危機管理部部長代理ほか15名
議事	<p>議事</p> <p>(1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第204号（案）</p> <p>(2) 静岡原子力だより204号（案）</p> <p>(3) 令和7年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画（案）</p> <p>(4) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定に係る測定法及び評価方法（案）</p> <p>報告</p> <p>(1) 浜岡原子力発電所の現況</p>
配布資料	<p>資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和6年10月～12月）（静岡県環境放射線監視センター）</p> <p>資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和6年10月～12月）（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料3 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料4 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第204号（案）</p> <p>資料5 静岡原子力だより204号（案）</p> <p>資料6 令和7年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画（案）</p> <p>資料7 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定に係る測定法及び評価方法（案）</p> <p>中部電力報告資料 浜岡原子力発電所の現況</p>

2 審議事項

(1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書

(令和6年10月～12月)

(2) 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力㈱浜岡原子力発電所）

測定機関が、資料1（環境放射線監視センター）、資料2・3（中部電力㈱浜岡原子力発電所）により測定結果を報告した。

<質疑応答>

構 成 員：空間放射線量率が平常の変動幅の下限を下回ったことについて、結論はそのとおりだと思う。原因については、降水によって土壤の表面が湿ったことにより、遮蔽がきいて土壤からのγ線が少し少なくなっていたところに車両がたまたまあったものと思うので、原因等も含めて記載した方がわかりやすいと思う。

検証実験について、線量率が下がってくる朝方に、実験が重なってしまい、車両の影響がはっきり見えない結果となった。日の出以降、大気中のラドン系列の壊変各種の濃度が下がるため、その影響で空間放射線量率が1～2nGy/h程度下がることは、よくあることだと思う。

配置した車両3台のうち局舎右側に設置した車両2台については、モニタリングステーション局舎の屋上に設置したNaIから見込んだ立体角が小さく、また、もともと局舎の屋根で遮蔽されかねない状況に設置されているので、結果として2台の車両は、影響をあたえないのだと思う。今回の検証で、はっきり結果が見えていないことは、そのとおりと思う。現象としては、それほど問題になることではないので、この結論で良い。

中 部 電 力：いただいたコメントを反映して資料を修正させていただく。

(3) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第204号（案）

事務局が、資料4により、浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第204号（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

(4) 静岡原子力だより204号（案）

事務局（原子力安全対策課）が、資料5により、静岡原子力だより204号（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

(5) 令和7年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画（案）

環境放射線監視センターが、資料6により、令和7年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

(6) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定に係る測定法及び評価方法（案）

環境放射線監視センターが、資料7により、浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定に係る測定法及び評価方法（案）を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

3 報告

(1) 浜岡原子力発電所の現況

中部電力(株)が、中部電力報告資料により、浜岡原子力発電所の現況について説明した。

<質疑応答>なし。

以上